

令和7年度 小国町中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和8年5月

小国町（山形県）

○計画期間：令和6年4月～令和11年3月（5年0月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点（令和8年3月31日時点）の中心市街地の概況

本町では、「暮らしを支える機能と活力を生み出す人が創造する新たな中心市街地」を目指す姿と定め、「暮らしやすい、安心して住み続けたいと思うまち」「賑わい、新たな活動・創造が生まれるまち」「訪れ、多様な世代が交わる（交流・行きかう）まち」の3つの方針に沿って、令和6年4月より認定基本計画が始動した。当該年度は計画の2年目である。

目標1で定めた「まちに暮らす」の目標指標である「定住人口（人）」については、基準値を令和2年度の数値である3,637人に設定し、人口減少の推計率から目標値を3,300人と定めたところであるが、令和7年度末の数値が2,977人と、3,000人を下回った。町内全域の人口減少率が3.7%であることを考慮すると、中心市街地区域での減少率も3.6%であり、町内全域での人口減少が中心市街地区域でも例外ではないことが読み取れる。目標2で定めた「まちを動かす」の目標指標である「起業者数（人）」については、基準値を令和3年度の2件と設定し、目標値を5年間で18件と定めているが、令和7年度は2件であった。基準値は達成したものの、2年間での起業者数が3人であるため、5年間で18件の目標値達成に向けて、計画事業を的確に実施していく必要があると考える。目標3で定めた「まちを回遊する」の目標指標である「歩行者・自転車通行量（人／日）」については、令和4年度の通行量である1,072人と設定し、目標値を1,200人と定めたが、令和7年度は857人と、目標を大幅に下回った。これは、町中心部にあるショッピングセンターアスモの核店舗が9月中旬に事実上の閉店となり、10月中旬にミニスーパーをオープンさせるまで、買い物できる環境がなかったことから、調査時における町中心部への往来が極端に減ったためと考えられる。

計画に掲載された64事業のうち、未着手の事業も半数近く存在しているため、各種目標の達成に向けて、計画に掲載された事業を着実に実施することが求められている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度3月31日）

（中心市街地 区域）	令和5年度 （計画前年度）	令和6年度 （1年目）	令和7年度 （2年目）	令和8年度 （3年目）	令和9年度 （4年目）	令和10年度 （5年目）
人口	6,624	6,395	6,159	—	—	—
人口増減数	▲229	▲229	▲236	—	—	—
自然増減数	▲115	▲129	▲139	—	—	—
社会増減数	▲114	▲100	▲97	—	—	—
転入者数	158	176	155	—	—	—

2. 令和7年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和7年度は、小国町中心市街地活性化協議会を2回開催し、計画事業の進捗状況を共有した。中心市街地の活性化の取り組みの1つとして、まちづくりの中核的機能を有する現おぐに開発総合センターに代わる次期総合センター本体工事を進めており、令和8年度中に始動する予定と聞いている。また、令和7年4月の協同組合小国ショッピングセンターの破産手続き開始により、ショッピングセンターアスモの現状の共有や今後の方向性についても、本協議会を通じて引き続き意見交換していきたい。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
まちに暮らす	定住人口 (人)	3,637人 (R2)	3,300人	2,977人 (R7)	<u>C</u>	C	C
まちを動かす	起業者数 (人)	2件 (R3)	18件	2件 (R7)	B	A	B
まちを回遊する	歩行者・自転車通行量 (人/日)	1,072人 (R4)	1,200人	857人 (R7)	C	A	C

<基準値からの改善状況(※1)>

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A: 目標達成、B: 基準値より改善、C: 基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類(※2)>

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A: 目標達成が見込まれる

B: 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C: 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「<基準値からの改善状況(※1)>」、<目標達成に関する見通しの分類(※2)>ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例: a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

定住人口(人)は令和2年度の中心市街地の人口から当時の減少率を推計して計画の目標値を設定したが、令和7年度末時点で既に目標値を下回る結果となった。今後、計画に記載された事業を着実に実施したとしても、目標達成及び基準値を上回るとは非常に厳しい環境にあるものと判断される。

起業者数(人)については、令和7年度の実績が2件と、基準値と同数となっている。2年間で3件の実績であるため、計画に記載された事業の半数がこれから予定されていることを踏まえると、目標達成は難しいと考えるが、基準値は上回ると判断される。

歩行者・自転車通行量（人／日）は、調査直前に町中心部に位置するショッピングセンターアスモの核店舗が閉鎖したことで、目標値及び基準値を下回った。ショッピングセンターアスモは今後、リニューアルを計画していく予定だが、現時点で内容が確定しているわけではない。令和８年度には計画に記載されている次期総合センター建設事業が完了する見込みであるが、現時点で目標達成及び基準値を上回るか不透明である。

３．前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

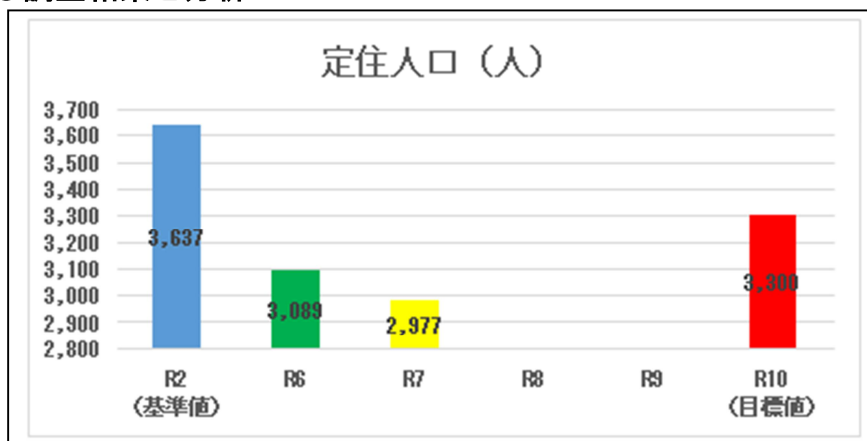
起業者数は、計画前年度及び前々年度に合計７件の実績があったため、計画に記載されている事業の内容に変更はないものの、令和６年度は基準値よりも低かったが、令和７年度は基準値通りの結果となった。そのため、基準値は達成したものの、２年間での実績が３件であるため、目標値である１８件の達成は難しくなった。

歩行者・自転車通行量は、町中心部にあるショッピングセンターアスモの核店舗の予定せぬ閉店に伴い、想像以上に影響が大きかった。

４．目標指標ごとのフォローアップ結果

（１）「定住人口（人）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 68～P. 70 参照

●調査結果と分析



年	（単位）
R2	3,637 人 （基準年値）
R6	3,089 人
R7	2,977 人
R8	—
R9	—
R10	3,300 人 （目標値）

※調査方法： 住民基本台帳

※調査月： 毎年度３月末日

※調査主体： 小国町

※調査対象： 中心市街地に居住する人口

〈分析内容〉

定住人口の目標達成に向けた全 22 事業のうち、実施に至っているのは半数の 11 事業であり、人口を維持していくための効果的な事業を展開できていない状況となっている。同時に、町内全体での人口減少が進行し、想定を超える減少幅となっていることから、当初定めた目標値の達成は非常に厳しい状況となっている。令和８年度に完成予定の次期総合センターの運用開始とともに、各種事業を適切に実施していくことで、新たな人の流入や定着を期待しながら、大幅な減少幅にならないように事業を展開していく必要がある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 公的賃貸住宅整備事業（小国町・民間事業者）

事業実施期間	令和8年度～【未】
事業概要	一定の所得層へ向けた公的賃貸住宅を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】15人
事業の今後について	令和8年度以降の事業化に向けて調整している。

②. 夏山冬里克雪住宅整備事業（小国町）

事業実施期間	令和8年度～【未】
事業概要	町が中心市街地における空き家等を活用し、雪への対応に不安を抱く周辺部の高齢者等が冬期間に中心市街地で生活できるよう住宅整備を進めるもの。また夏場は、移住希望者等の活用も進める。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（内閣府） 令和7年度～
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】5人
事業の今後について	令和8年度以降の事業化に向けて調整している。

③. 移住定住促進事業（小国町）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	移住支援金の交付、移住体験ツアーの実施等。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（内閣府） 令和8年度～
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1人 首都圏で開催された移住者向けイベントに出店し、移住者の募集を募ったが、本事業による移住者はいなかった。
事業の今後について	イベントへの出店は継続しながら、都市住民との交流促進やSNSを活用した地域の魅力を発信し、移住者の獲得につなげていく。

④. 空き家・空き店舗活用事業（小国町、小国町商工会）

事業実施期間	令和6年度～【未】
事業概要	空き家・空き店舗の状況を調査し、活用に向けたマッチングを進める。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 1 件 (2.47 人) 小国町商工会と事業内容の調整ができず、実施に至らなかった。
事業の今後について	商工会と当該事業について調整を進め、実施できるよう努めていく。

⑤. 事業の総合的な実施による効果（各事業者）

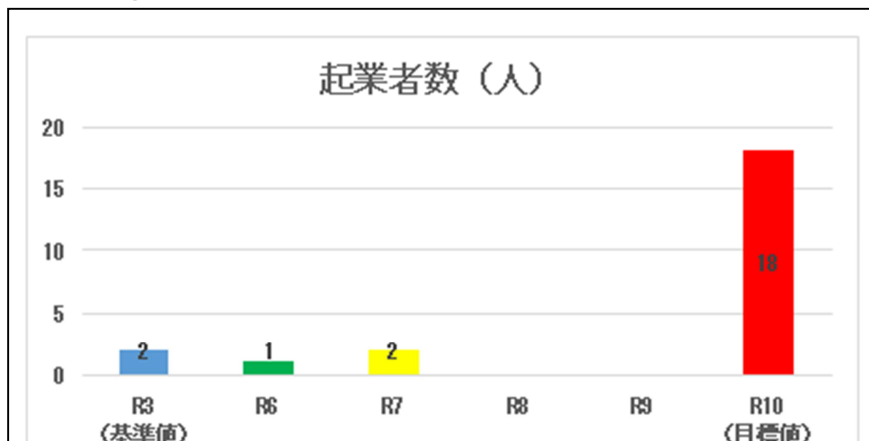
事業実施期間	令和 6 年度～【未】
事業概要	①公的賃貸住宅整備事業、②夏山冬里克雪住宅整備事業、③移住定住促進事業、④空き家・空き店舗活用事業を総合的に実施することで、中心市街地への居住を希望する割合が増えていく。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 21 人
事業の今後について	当該 4 事業のうち、実施している事業が③移住定住促進事業だけのため、総合的な効果を検証できない状態である。引き続き、①及び②並びに④の事業の進捗を確認しながら注視していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業のうち、実施できたものは③移住定住促進事業のみである。そのため、実施できていない事業を次年度以降に着実に実施していき、事業効果を発揮させる必要がある。その一方で、中心市街地のみならず、町内全体でも人口減少が著しく、現段階で目標値を達成する見込みは少ない。大幅な減少幅にならないよう、まずは事業を適切に実施していく。

（２）「起業家数（人）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 71～P. 72 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
R3	2 件 (基準年値)
R6	1 件
R7	2 件
R8	—
R9	—
R10	18 件 (目標値)

※調査方法： 起業化資金助成金の利用者調べ

※調査月： 毎年度 3 月末日

※調査主体： 小国町

※調査対象： 中心市街地で起業した人数

〈分析内容〉

令和4年度に5名の起業者、令和5年度に2名の起業者がいたことで、それまで起業を検討してきた方が令和6年度は少なくなったと考えられるが、令和7年度は基準値通りの結果となった。引き続き事業を実施しながら注視していく。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 研修滞在空間活用事業（小国町、一般社団法人 YOKAMOS）

事業実施期間	令和6年度～【実施中】
事業概要	一般社団法人 YOKAMOS が、既存の酒蔵をコワーキングスペースとした「カモスク」をオープンしており、カモスクを拠点として研修滞在空間について、活用促進のためのソフト事業の支援を行うもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業目標値〕 0人 ※起業希望者への業務スペース提供のため。 〔進捗状況〕 0人 当該事業は場所の提供であるため、目標値は0人と設定している。
事業の今後について	一般社団法人 YOKAMOS が提供するコワーキングスペースが利用できることを起業者向け事業や起業希望者へ説明していく。

②. ローカルビジネス創出事業（小国町）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	白い森まるごとブランド構想は、小国町の食や自然、文化等の地域資源をまるごとブランド化し、町の魅力を発信していく構想であり、地域資源を活用した新たなビジネスを後押しすることにより、意欲ある人材を増やしが町を動かしていくことにより中心市街地活性化にも寄与するものである。白い森まるごとブランド構想の具現化にむけ、意欲ある事業者等との連携により、文化や特産品を活用した新たな価値創造とビジネス化を目指してハンズオン支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和6年4月～令和11年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業目標値〕 1人 〔進捗状況〕 0人 当該事業をきっかけとした起業者はいなかった。
事業の今後について	事業を継続しながら、起業者への支援を行っていく。

③. 起業・創業支援事業（小国町）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】
--------	--------------

事業概要	起業希望者を対象とした相談会を開催するとともに、起業に向けた資金を助成するもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和6年4月～令和11年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業目標値〕 1人 〔進捗状況〕 2人 起業希望者を対象とした相談会への参加者ではなかったものの、企業助成金を活用して2名が起業することとなった。
事業の今後について	引き続き事業を継続しながら、起業家への支援を実施していく。

④. 事業承継促進事業（小国町商工会）

事業実施期間	令和4年度～【未】
事業概要	後継者のいない事業者等について、事業承継のためのマッチングを進める。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業目標値〕 1人 〔進捗状況〕 0人 小国町商工会との細かい調整ができず、実施できなかった。
事業の今後について	商工会と連携しながら、事業承継事業を引き続き実施していく。

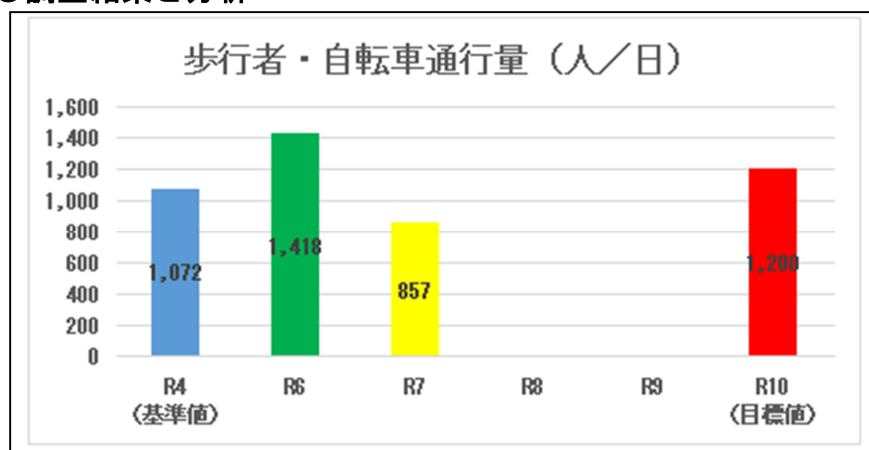
●目標達成の見通し及び今後の対策

起業家数については、既に①研修滞在空間活用事業、②ローカルビジネス創出事業、③起業・創業支援事業を実施しており、計画前年度と前々年度に計7名の起業家がいたため、計画初年度の起業家が少なかったと考えている。計画2年目である令和7年度は基準値通りの結果となったため、未実施である④事業承継促進事業の実施を促しながら、引き続き目標達成に向けて注視していく。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「歩行者・自動車通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 68～P. 70 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
R4	1,072 人 (基準年値)
R6	1,418 人
R7	857 人
R8	—
R9	—
R10	1,200 人 (目標値)

※調査方法： 中心市街地（業務対象の約 160ha）の計 7 地点において、歩行者及び自転車の通行量調査

※調査月： 令和 7 年 10 月

※調査主体： 小国町

※調査対象： 学童（小学生以下）、中高生、一般、高齢者、自転車



(単位：人)

	令和４年度 (基準年度)	令和６年度 (１年目)	令和７年度 (２年目)	令和８年度 (３年目)	令和９年度 (４年目)	令和１０年度 (５年目)
地点１	113	152	107	—	—	—
地点２	82	119	57	—	—	—
地点３	202	241	158	—	—	—
地点４	238	361	215	—	—	—
地点５	219	249	180	—	—	—
地点６	67	109	45	—	—	—
地点７	151	187	95	—	—	—
合計	1,072	1,418	857	—	—	—

〈分析内容〉

計画初年度であった令和６年度は目標を達成したものの、計画２年目である令和７年度は基準年度をも下回る結果となった。理由として、９月中旬に町内中心部にあるショッピングセンターアスモの核店舗が事実上の閉店となったことを受けて、１０月中旬にミニスーパーがオープンするまで、人の流れが絶たれたことが原因であると考えている。また、当初想定していた次期総合センター開発事業についても、オープンが令和８年度にずれ込む結果となり、人の流れを取り戻せない状態であった。令和８年度以降は、次期総合センターのオープンやショッピングセンターアスモのリニューアルを検討している中で、新しい人流が算出されるものと期待している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 次期総合センター活用事業（小国町）

事業実施期間	令和８年度～【未】
事業概要	ホール機能と図書機能を併せ持つ公共複合施設において、展示や各種講座などイベント等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業目標値〕 324 人
事業の今後について	令和８年度からの事業に向けて調整している。

②. 研修滞在空間活用事業（小国町、一般社団法人 YOKAMOS）

事業実施期間	令和６年度～【実施中】
事業概要	一般社団法人 YOKAMOS が、既存の酒蔵をコワーキングスペースとした「カモスク」をオープンしており、カモスクを拠点として研修滞在空間について、活用促進のためのソフト事業の支援を行うもの。

国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業目標値〕 15 人 〔進捗状況〕 1 人 一般社団法人 YOKAMOS が運営している宿泊施設については、一時期稼働していなかった次期もあり、目標は達成できなかった。
事業の今後について	引き続き一般社団法人 YOKAMOS と連携しながら、歩行者等の通行量を増やしていく。
③. 生涯スポーツ普及推進事業（NP0 おぐにスポーツクラブ Yui、スポーツ協会）	
事業実施期間	平成 25 年度～【実施中】
事業概要	各世代を対象としたスポーツイベントや運動教室等を通じて、健康づくりと体力づくりを促進する。
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業目標値〕 30 人 〔進捗状況〕 82 人 屋内運動施設あいべの運動教室が年に 60 回、スポーツ公園での運動教室が年に 72 回開催されたため、目標値を上回った。
事業の今後について	屋内運動施設あいべでは定期的な教室を開催しているが、スポーツ公園では定期的な運動教室が開催されていないため、引き続き事業の実施を注視しながら効果を図っていく。
④. まちなか中核施設活用推進事業（小国町、（株）小国いきいき街づくり公社）	
事業実施期間	平成 23 年度～【実施中】
事業概要	ショッピングセンターアスモの空き空間について利活用を促進する。
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業目標値〕 46 人 〔進捗状況〕 50 人 ショッピングセンターアスモの空き空間に対して、にぎわい創出を図ることで、目標値を上回る結果となった。
事業の今後について	アスモの空き空間の利活用を図ることで、にぎわい創出に寄与していることから、引き続き事業を実施していく。
⑤. 文化的建築物保全活用事業（民間）	
事業実施期間	令和 7 年度～【未】
事業概要	文化的建築物である旧電興社寮について、調査を実施し保全と活用を図る。
国の支援措置名 及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）（内閣府） 令和 7 年度～

事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 17 人
事業の今後について	令和 8 年度以降の事業化に向けて調整している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

歩行者・自転車通行量については、実施している②研修滞在空間活用事業、③生涯スポーツ普及推進事業、④まちなか中核施設活用推進事業の効果が十分に発揮されているものの、町中心部にあるショッピングセンターアスモの核店舗の突発的な閉店が影響しう、目標値が達成できなかった。今後予定されている①次期総合センター活用事業が開始されれば、さらなる交流が生まれるものと考えており、目標値についても達成できる可能性は秘めている。引き続き注視していきたい。